

学校評価 総括評価表

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の評価・意見	次年度への課題と今後の改善方策
基本的生活習慣の確立及び望ましい校風の樹立	①挨拶を励行する。 ②出席率を向上させる。 ③「生活習慣改善プロジェクト（元気なあわっ子！応援事業）」の取組を充実させる。 ④個人面談週間を年間指導計画に位置付ける。 ⑤地域とともにある望ましい学校づくりを推進する。	評価指標 ①日常生活における挨拶を励行することで基本的生活習慣を確立する。 ②さわやかで活力あふれる富東生を目指し、出席率を85%以上とする。 ③生活習慣改善目標を自分で設定し、自己評価において「十分できた、できた」と回答する率を55%以上とする。 ④個人面談により、生徒とのコミュニケーション及び生活習慣、学習状況等の把握に努める。 ⑤ホームページの年間80回以上の更新に努め、学校への理解の推進を図る。	評価指標の達成度 ①登校時の挨拶指導で、生徒から教員へ話しかける場面が多く見受けられた。 ②2学期末現在の出席率は84%であり、2年生は75%と低いものの、それ以外の学年は80%を超えることができた。（昨年86%） ③自己評価において「十分できた、できた」との回答は51.7%であり、年度当初の目標には惜しくも達成できなかった。 ④各学期当初の個人面談によって、生徒の生活習慣や学習状況等を把握し、適切な指導を行った。 ⑤12月末現在、ホームページの更新は40回を超え、学校への理解の促進に努めた。	総合評価（評定） B <hr/> （所見） 出席率は1%、生活習慣改善は、約3%目標から下回ったものの、登校時の挨拶指導や毎学期の個人面談等を通じて、生徒教師間で良好な関係が醸成され、「基本的生活習慣の確立及び望ましい校風の樹立」は、少しずつではあるが着実に進んでいる。	・評価指標の%や回数を目標にして、教育活動を実施するのは、もちろん大切なことではあるが、生徒一人一人の心のケアや、居場所作りなどの丁寧な指導が一番大切である。自分の存在意義を見失っていたり、ほっとしている生徒もいることから、そういった生徒への指導をこれまで以上に、万全のものにしていきたい。	・本校のスローガンである「あいさつで心ふれあう富東」を定時制生徒全員が率先して体現するよう、引き続き挨拶励行を評価指標とし、基本的生活習慣を確立する。 ・出席率が、全学年で80%以上となるよう、生徒への出席の励まし等、指導を継続し、家庭との一層の連携を図り、その指導を強化する。
		活動計画 ①毎日の昇降口指導を実施する。 ②生徒への声掛けを積極的に行う。 ③生活習慣改善プロジェクトを計画案に沿って実施する。 ④各学期当初に、個人面談週間を設定し実施する。 ⑤行事があるごとに、タイムリーな情報を分かりやすく提供する。	活動計画の実施状況 ①毎日、複数の教員が笑顔で校門及び昇降口指導を行った。 ②日頃から生徒への声掛けを誠実に行った。 ③保健だよりの発行(毎月)し、調理実習の開催等、当初の計画どおり実施した。 ④年間3回の個人面談を実施した。 ⑤行事終了後に掲載する内容を吟味し、情報を提供することができた。			
職業と学業の両立を図るたくましい精神力と豊かな人間性の育成	①たくましい精神力の育成に向け、健康相談・教育相談を充実させる。 ②関係諸機関との連携により、個々の生徒に応じた就労支援を行う。 ③高校生活の意義を伝えるとともに、人間性豊かな生徒を育成する。	評価指標 ①課題の把握により、教職員の共通理解を図り、支援方針を立て解決を目指す。 ②職業と学業の両立を図る力を育成し、就労生徒70%以上を目指す。 ③進路ホームルームや行事、日々の指導を通して、積極的に高校生活を過ごす姿勢を養う。	評価指標の達成度 ①12月末現在の生徒の「健康相談」の件数は、20件であり、教職員間で共通理解を図り、支援している。（昨年26件） ②就労率は12月末現在で66%であった。仕事を通して働く意義を学べるよう、就労支援を継続していきたい。（昨年59%） ③日々の指導に加え、各学期に1回以上進路指導に関するホームルームや行事を行い、将来の自己実現のための高校生活の大切さを伝えた。	総合評価（評定） A <hr/> （所見） 健康相談の数を減少させることができたことは、様々な指導の成果である。ずっと就労していなかったが、卒業が近くなり就労した4年生が複数名いる。本校での4年間の成長として捉えている。	・就労している者は、就労先で、体力を使い、気を使い、「ふらふら」になって登校する生徒がいる。そういった生徒に十分なメンタルケアをお願いする。叱るより褒める。教えるより褒める。とにかく褒めてほしい。 ・就労していない生徒に対して、就労意欲を持たせ、就労に導く過程を大切に、来年度も引き続き手厚い指導を期待する。	・就労意欲が少ない生徒に、声かけや就労先に関する情報提供を行うとともに、就労の意義等について話し合い、生徒自身から就労意欲を引き出す指導を、来年も継続していく。また、就労している生徒には、就労先でのストレスやトラブルがないか常に気を配るとともに、就労で得た収入の使い道等に関しても相談・助言を実施する。
		活動計画 ①健康相談の場として職員室隣室を使用し、必要に応じてスクールカウンセラーと協同して支援にあたる。 ②関係諸機関の連携、就労に関する情報の収集、個々の生徒に応じた就労相談、職場訪問・開拓等を推進する。 ③進路指導に関する行事や体験活動を充実し、高校生活で身につけるべき力を把握させ、自分を見つめさせる。	活動計画の実施状況 ①何か悩みを抱えている生徒がいる時は、早めに話を聞くなどし、スクールカウンセラーと連携を図りつつ、計画どおり実施した。 ②ハローワーク等とも連携し、個別相談を行ったり、就職相談会や企業見学に参加する生徒を引率するなど就労支援に努めた。 ③当初の計画どおり、徳島県生活衛生営業指導センターと連携し、校内インターンシップを実施した。			

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の 評価・意見	次年度への課題と 今後の改善方策
基礎学力の向上と進路指導の徹底	<p>①読書活動を通して、読む力、想像力や表現力を培う。</p> <p>②「漢字スキル学習」を継続的にを行い、漢字の基礎力を養う。</p> <p>③各種資格、検定試験にチャレンジさせ、知識・技能の向上を目指す。</p> <p>④能動的な学習態度を身につけさせるとともに、基礎学力の向上を図る。</p> <p>⑤自己理解及び社会理解を深め、卒業後の進路実現に向けて意欲的に行動する姿勢を養う。</p> <p>⑥アフターサポートを徹底し、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①授業等で年間28回以上学校図書館を利用する。</p> <p>②各自に応じたレベル別の課題に取り組み、35%以上の生徒が上のレベルに上がることを目指す。</p> <p>③各種資格、検定の受検の合格者数5人以上を目指す。</p> <p>④始業前や放課後に自習が行える環境を整える。</p> <p>⑤卒業後の進路について自ら考え行動できるよう、キャリア教育を充実させる。</p> <p>⑥欠課補講及び欠点補講を年間各2回実施する。</p> <p>活動計画</p> <p>①生徒に学校図書館を利用させ、様々な分野の読書を促し、読む力、想像力や表現力の育成を図る。</p> <p>②個々に応じた指導を心掛け、毎日の「漢字スキル学習」に取り組む。</p> <p>③「漢字スキル学習」の活用や、各教科担当教員と協力し受検奨励及び対策を行う。</p> <p>④資格試験の勉強や予習・復習を意欲的に取り組めるようにプリント等を準備し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>⑤進路指導ホームルーム、講演会、企業見学等を充実させる。</p> <p>⑥全教職員で学習支援に取り組み、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①学校図書館利用数は24回であり、生徒の読書活動を推進できた。(昨年25回)</p> <p>②12月末現在、指標を上回る66%の生徒が上のレベルに到達することができた。(昨年47%)</p> <p>③各種試験検定の合格率は、12月末現在100%であった。スキルアップを目指し、学習意欲の向上に努めた。(漢字検定1月末実施予定)</p> <p>④始業前や放課後に職員室や教室等を開放し、自習が行えるように教育環境を整備することができた。</p> <p>⑤日々の指導に加え、各学期に1回以上キャリア教育に関する行事やホームルームを行い、自己理解や社会理解の育成に努めた。</p> <p>⑥欠課補講及び欠点補講を各2回実施し、基礎学力の定着に努めた。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①国語や総合的な学習の時間等を利用して、読書活動を推進し、読む力、想像力や表現力の育成を図った。</p> <p>②生徒一人一人に応じた声掛けや採点時のメッセージ等、継続的に丁寧な指導を行った。</p> <p>③毎日の「漢字スキル学習」に加え、日本漢字能力検定やビジネス文書実務検定等の受検を奨励し、対策を指導した。</p> <p>④資格試験については、始業前に個別指導を行い、授業については、プリント配布に加え、プロジェクター等IT機器を利用し、基礎学力の定着を図った。</p> <p>⑤進路指導ホームルーム、校内インターンシップ、企業見学等を実施し、キャリア教育の充実を図った。</p> <p>⑥全教職員で連携して取り組み、生徒の基礎学力の定着に努めた。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>B</p> <p>-----</p> <p>(所見)</p> <p>読書活動については、評価指標には達成しなかったものの、HR活動の時間に、全学年の生徒が集い、集団読書会を図書室で実施するなど、読書の魅力を伝える取組がなされた。</p> <p>基礎学力の向上と定着のため、読書活動、「漢字スキル学習」、各種資格・検定試験、欠課補講・欠点補講など、年間を通じて様々な取組を実施した。これらの取組を通じて、基礎学力の向上と定着を図るとともに、自己肯定感の向上や、卒業後の進路の展望を持たせること等ができつつある。また、全商ビジネス文書実務検定1級に1名合格した。</p>	<p>・重点課題の「基礎学力の向上」につながる教養となる教科・科目に加え、重点課題の「進路指導の徹底」につながる学習活動として、「漢字スキル学習」や、情報の授業で学んだパソコンなど、社会で働くことに直結するものがある。どちらも重要なものであることから、来年度も引き続き粘り強い指導をお願いする。</p> <p>・興味を持っている分野の差違、教科・科目の得意・不得意、就労に費やされる時間の大小などが、それぞれの生徒によってある。このため、基礎学力の向上と定着のために実施している読書活動、「漢字スキル学習」、各種資格・検定試験等に対する取組の度合いも生徒によって異なる。生徒が少人数であることを生かし、よく取り組んでいることはさらに上級をめざし、取組度合いが低いことには、粘り強い指導を重ね、それぞれの生徒が、それぞれの取組で一步先へ勧めることができるよう支援する。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の評価・意見	次年度への課題と今後の改善方策	
家庭・地域社会との連携による生徒指導の充実強化と安全指導の徹底	①家庭・関係機関との連携を図る。 ②災害時の対応力を養う。 ③安全教育の啓発を励行する。 ④個に応じた生徒指導を徹底し、生徒一人ひとりの課題解決能力を高める。	評価指標 ①生徒の健全育成のため、家庭・学校・関係機関が連携を深める。 ②防災・避難訓練と心肺蘇生・AED講習を年間合計3回行う。 ③安全教育の授業を年間5回以上実施する。 ④生徒の情報共有のための職員打ち合わせを毎日2回行い、生徒一人一人の課題に応じて、教員全員で粘り強く指導にあたる。 活動計画 ①生徒の犯罪を未然に防止するため、祭礼時・各学期の街頭補導、PTA研修・家庭訪問などを実施し、生徒をサポートする。 ②防災・避難訓練を通じて、災害に対する事前準備と、災害発生時の正しい対応力を身に付けさせる。 ③年間計画に沿った安全教育を実施し、自主的な行動を身に付けさせる。 ④生徒の情報共有のための職員うち打ち合わせの実施及び対応について話し合いを重ね、個に応じたきめ細やかな指導を行う。	評価指標の達成度 ①家庭・学校・関係機関が連携を深め、充実した生徒指導を実施した。 ②防災・避難訓練と心肺蘇生・AED講習を年間合計3回実施した。 ③外部講師による安全教育を年間4回実施した。元年度「命の大切さを学ぶ教室」開催。(昨年3回) ④毎日2回の打ち合わせにより、12月末現在の生徒の情報共有数はのべ124名であり、教職員間で共通理解を図った。(昨年324名) 活動計画の実施状況 ①集会等を通じて規範意識を徐々に定着させた。関係機関との街頭指導・家庭訪問を実施することで、生徒一人一人のサポートに努めた。 ②全教職員で協働体制を構築し、防災・避難訓練と心肺蘇生・AED講習を通じて、防災への意識向上を図った。 ③命や生活の大切さを考えさせ、自主的に安全な行動ができるよう指導した。 ④生徒の情報を教職員間で共有し、話し合いを重ね、きめ細かな指導に結び付けた。	総合評価(評定) B (所見) 家庭との連絡を密にとることにより、生徒一人一人の課題に適時かつ詳細に対処することができ、生徒の情報共有回数が減少した。 防災教育で災害時の対応、安全教育で普段の生活の行動等を考えさせ、自ら安全安心な行動を取る指導を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用教室は、社会に出ていく者の心構えとして大切である。回数を増やしてでも重点的に取り組んでほしい。 防災避難訓練は、周囲が見渡せない夜間の状況等を考えると、十分に実施していただきたい。 心肺蘇生・AED講習も、夜間における医療機関との連携の難しさを考えると、十分に研修を重ねておいていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連絡を密にすることにより、 <ol style="list-style-type: none"> 家庭の状況、 家庭の状況が生徒及ぼす影響、 学校・教職員が取るべき対応や指導 等が詳細に把握できる。このことから、次年度も引き続き、家庭との連携を密にし、指導・助言をよりよいものにしていく。
教育活動の全領域における人権教育の徹底	①いじめ等の問題行動の未然防止に努める。 ②人権講演会を充実させる。 ③自主活動への参加を促す。 ④職員研修を充実させる。 ⑤「人権新聞」を制作する。	評価指標 ①いじめ・悩みアンケートを年間3回、基本的生活習慣調査を年間1回、それぞれ実施する。 ②人権講演会を年間2回実施する。 ③身元調査お断りワッペン運動に参加する。 ④人権講座等の研修会に全教職員が1回以上参加する。 ⑤人権委員を中心に生徒からの感想をまとめ、年間3回発行する。 活動計画 ①各種アンケートを実施し、生徒の状況把握に努める。 ②生徒の身近な内容を取り上げる。 ③生徒の実態に応じて呼びかける。 ④研修受講後も意見交換をきめ細かに行き、「人権の視点」を日常的に持つことを相互確認する。 ⑤人権HRや人権講演会の感想等をまとめる。	評価指標の達成度 ①当初の計画どおり各学期にいじめ・悩みアンケートを、1学期に基本的生活習慣調査を実施した。 ②外部講師による人権講演会を2回実施した。 ③学校主催と阿南市人権教育協議会主催の2つのワッペン運動に参加することができた。 ④計画どおりに全教職員が人権講座等の研修会に1回以上参加した。 ⑤生徒からの感想をまとめ、人権新聞として年間3回発行した。 活動計画の実施状況 ①把握した生徒の状況については教職員間で共通理解を図り、解決に向けて取り組んだ。 ②「いじめ、仲間づくり」「同和問題」をテーマに人権講演会を実施した。 ③学校主催は参加しやすい平日の行事とした。 ④研修受講後のアンケートまとめにより、教職員間で話し合い、情報の共有を図った。 ⑤人権HR、人権講演会後の感想等のアンケートを基に、人権新聞としてまとめた。	総合評価(評定) B (所見) いじめ・悩みアンケートを定期的に実施し、生徒の状況を把握する重要性は高い。 人権講演会や身元調査お断りワッペン運動に参加する生徒の態度は、年々良くなっており、全体として生徒の人権意識は高くなってきている。	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・悩みアンケートを年間3回実施し、人権講演会も2回実施していることから、人権教育が徹底できていることがうかがえる。 「身元調査お断りワッペン運動」は、30年間続いている。同和問題は、情熱を持ってあたると必ずいい方向へ進む。ぜひ、来年度も、ワッペン運動を継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「さわやかで活力あふれる富東」と学校スローガンにあり、いじめをなくし、悩みを最小限にするべく、いじめ・悩みアンケート結果から、小さな芽も見逃さないきめ細やかな対応ができよう、全教職員が取り組む。 身元調査お断りワッペン運動を通じて、知識理解だけでなく、実践できる人材を育成していく。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の評価・意見	次年度への課題と今後の改善方策
個性と自主性の開発伸張による有為な社会人の育成	<p>①地域の清掃活動への参加を促す。</p> <p>②計画的な「総合的な学習(探究)の時間」の実施に努め、個性と自主性の開発伸張を図る。</p> <p>③個性発揮の機会として、定通連の美術作品展や球技大会への参加を奨励する。</p> <p>④活躍の場を提供できる教育活動を展開し、校外行事への参加率を高める。</p> <p>⑤将来、社会人として必要とされるマナーを身に付けさせる。</p>	<p>評価指標</p> <p>①清掃ボランティア活動を年間1回実施する。</p> <p>②「総合的な学習(探究)の時間」の適切な学習評価を実施するため、年間学習計画を作成する。</p> <p>③定通連美術作品展での入賞者数を2以上にする。</p> <p>④様々な校外行事への参加率を70%以上とする。</p> <p>⑤日々の指導を通じて、挨拶、話し方、聴き方、周囲への配慮等、社会人としてのマナーを養成する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①11月に清掃ボランティア活動を実施し、地域の清掃活動に取り組んだ。</p> <p>②年度当初に、「総合的な学習の時間」の年間指導計画を作成し、同時間を充実させ、定通連美術作品展参加等につなげた。</p> <p>③大谷焼を含む34作品を出展した。入賞者数は0であった。(昨年33作品、入賞1名) 球技大会には5名が参加したが、全員、1, 2回戦で敗退した。(昨年3回戦1名)</p> <p>④各行事の参加率は50～60%台であった。</p> <p>⑤生徒一人ひとりへの声掛けやホームルームでの指導を継続的に行うことで、少しずつではあるが各自が他者への接し方を身に付けた。</p>	<p>総合評価(評定)</p> <p>B</p> <p>-----</p> <p>(所見)</p> <p>学校周辺を清掃するボランティア活動に参加する生徒の様子から、この活動が、生徒と学校と地域を結びつける意義は大きいと言える。</p> <p>「自然文化体験活動」で作成した大谷焼、全生徒で作成した石の作品、校内フォトコンテストに提出された作品、書道選択者が授業中に書いた書等を、定通連美術作品展へ出展したことは、今後の生徒の活動意欲を向上させることにつながる。</p>	<p>・「お互いに協力し合う」行事が数多くある。清掃ボランティア、定通連美術作品展に出品する作品作り、全校調理実習などである。これらの活動の意義は大きいと捉えられる。</p> <p>・「校外へ出かける」行事がある。自然文化体験活動として大谷焼体験を実施した。定通連球技大会に参加した者もいた。今年は、東京研修旅行に、約7割の生徒が参加した。校外で様々なことを見聞し研修する機会があることがありがたい。</p>	<p>・学校スローガンである「よごすまい我らが母校富東」の精神が生徒間で浸透するよう、来年度も、学校周辺を清掃するボランティア活動を継続する。</p> <p>・種々の活動を通して達成感や喜びを味わい、知的好奇心を高めることは、他のことに積極的になり、自己肯定感を高めるなどの相乗効果が期待できる。次年度も発展的に取り組むたい。</p> <p>・様々な校外行事への参加率を上げるため、一人ひとりへの積極的な声掛けを次年度も継続する。</p> <p>・美術作品展ではより多くの作品出展や入賞を目指す。</p>
		<p>活動計画</p> <p>①地域の清掃活動へ参加することで地域社会に貢献し、社会への主体性と奉仕の精神を養う。</p> <p>②生徒の個性と自主性の開発伸張を図るため、それぞれの興味・関心、能力、適正等を考慮する。</p> <p>③校内フォトコンテストを開催したり、各教科の教員にも協力を得る。</p> <p>④生徒にとって有意義な経験ができるような企画立案をする。</p> <p>⑤社会人としてのマナーを養成するために、日々の声掛けとともに、マナー講習等を実施する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①校舎周辺や地域の清掃活動に取り組み、社会参加への主体性と奉仕の精神を養った。</p> <p>②生徒の興味・関心等に基づいて、各種検定の受検や定通連美術作品展等への作品出展などを促し実現させた。</p> <p>③校内フォトコンテストを実施することができた。作品展では自然文化体験活動で制作した大谷焼を含む34作品を出品した。</p> <p>④校外に出ることが少ない生徒たちに様々な体験ができるような計画と立案をすることができた。</p> <p>⑤2学期に校内インターンシップを実施し、社会性の向上を図るとともに、社会人としての心構えを身に付けさせた。</p>			
教員の資質向上と教育条件の整備充実および教員の働き方改革の推進	<p>①自己の教育課題の解決のために、様々な研修を受講し、各自のスキルや意欲の向上を図る。</p> <p>②教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①教員研修を様々な形態で20回以上実施することにより研究と修養に努め、教員の資質と専門性の向上を図る。</p> <p>②定時出勤定時退勤ができるよう、予防的生徒指導の徹底を図る。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①校内コンプライアンス研修を1月末現在で27回実施した。また、校外での様々な機会を利用して、研修に参加し、教員としての資質・能力や専門性の向上に努めることができた。</p> <p>②生徒指導に関する超過勤務が発生すること最小限に留めるよう努力することができた。</p>	<p>総合評価(評定)</p> <p>B</p> <p>-----</p> <p>(所見)</p> <p>コンプライアンス研修を通じて、綱紀の保持と服務規律の確保を図るとともに、校外の研修の機会を利用して、資質・能力の向上を図った。</p>	<p>・来年度も、研修を継続的に受け、資質向上を図ってほしい。</p>	<p>・次年度も様々な機会を捉え、校内コンプライアンス研修を実施する。</p> <p>・教員がそれぞれの研修で得たスキルを現場で生かし、資質・能力の向上を図る。このことから、勤務の効率を向上させ、働き方改革の推進につなげる。</p>
<p>活動計画</p> <p>①全教員が各研修を積極的に受講し、実践力を高める。</p> <p>②始業時と終業時の毎日2回の打ち合わせで、情報共有や連絡の徹底を図り、些細なことから対処する。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①教員としての資質向上を目指し、全教員が意欲的に研修を受講し実践力を高めた。</p> <p>②毎日2回の打ち合わせで、生徒の情報共有を行い、一人ひとりの生徒の課題に対応したきめ細かな指導を行うことで、問題が大きくなる前に対応できた。</p>					